

令和4年度第三者評価を受けて改善していく課題について

2022.12.10

社会福祉法人 向島保育園
京都市向島南児童館

I. 現状

当館は、令和4年度で創立13年目を迎えました。平成30年度に館長が変わり、活動を引き継ぎ、多くを確かめながら少しずつ進めているところです。

令和元年度に当館所在の小中学校区が近隣学区と統合され活動範囲が広がりました。その一方でこの間「新型コロナ感染」の関連で身動きできにくい場面に多く直面しました。その際、そういった場面に対応するためのソフトの側面、ハードの側面に課題があることを感じてきました。今回受診した第三者評価を通してそういった点を改めて見直す機会とし、結果をもとに総合的に整理していく機会とし、職員会議等で討議していきました。

II. 問題点及び課題

評価報告書でも指摘されています通り当館の大きな課題は以下の三点あります。

1. 広報のひろがり

おたより等の掲示、配布を行っていますが一定の範囲内にとどまっています。広がりが少ないのが現状です。

2. 地域自治会等との関係づくり

子育て支援関係団体とは一定の協力関係で進めてきていますが、子どもと直接的にかかわりが少ない地域の方々も含めて広く地元根付いた関係づくりには課題があります。

3. 目標・方針及び具体的活動等の標準化(文章化)

其々の活動を多方面に実施していますが、当館の弱いところとして、「記録」作成があります。職員の交代がほぼない状態で、ここまで来ていることによって、できてしまっているところがありますが、職員の交代や将来への展開を考えれば活動のマニュアル化は欠かせないところです。

III. 活動改善のため

1. 広報の工夫

- ① より広範囲への配布、掲示(近隣学区へのルート)
- ② 活動内容等 掲示板の活用した情報発信の工夫(学童、中高生向けそれぞれに)
- ③ HPの活用・情報内容、画面等の工夫

2. 地域自治会等との関係づくり

- ① コロナ感染予防対策を行いながら、統合された近隣学区との関係づくりを行い、活動を共にできる状況を作っていくよう活動を進めます。

- ② ネットワークを進めるために どんどん足を運ぶことを行っていきます。
待っているだけでは出来ないのが「ネットワーク」と学びました。まず活動を共にできる所から 足を運び連携しながら関係づくりを行っていきます。
- ③ 保護者や地域の方々が 児童館の企画・行事に参加していただけるような活動作りをめざして 少しずつ その方向で取り組みを積み重ねていきます。

3. 目標・方針及び具体的活動等の標準化

コロナ禍で直面した状況からも 今後の館としての BCP(事業継続計画)の作成と 法人に沿いながら 地域へどのように関与し、貢献し、作り上げていくかの中長期のビジョン作りと 各段階での文章の整理を実施していきます。

4. 「子どもの権利条約」の理念の理解と職員の行動変容へ

「子どもの参画」が強く叫ばれている中、「子どもが主体となって活動を作り上げていく」ことを念頭に置きながら、子どもの権利としての「子どもの権利条約」の理解と実践、SDGsが目指す社会へのコミットを目指します。そのためには 職員スタッフの「子ども権利条約」の理解、SDGsへの理解をしっかりと行い、子どもの身近にいる大人として示せていけるように 研修等を怠らず進めていきます。

IV. 改善に必要な経費・スケジュールについて

上記の活動を進めていくうえで必要なハード(例:掲示板の増設、オンライン活動に必要な器具等)の設置などの経費を整えます。

また BCP を推進する上で 必要な器具、設備等検討しながら準備を進めていきます。

改善点は すぐにできるものから 数年かけて計画的に行っていくものも含め 具体化しながら今年度から次年度にかけて そのスケジュール等確立していく予定です。

V. 備考

具体的に 現時点で進められてきた改善内容

- ① 実習マニュアルの整理・文章化
この秋の実習生を迎えるのに改めて再編した実習マニュアルに則って実施しました。
- ② 各活動(百人一首、将棋、けん玉他)のマニュアル化
其々の業務も含めたマニュアル化の推進を実施中です。
- ③ 児童個別記録などの整理
子どもの様子の記録として日誌に「ほっこりエピソード」等の日々の記録をつけていく個所を設けるなど日誌構成の改編を行っています。

* 第三者評価報告書を受けての改善課題です。今後も振り返りながら実施点検を実施していきます。

令和4年12月 京都市向島南児童館